

# コバス b 101による外部精度管理試料採取方法①

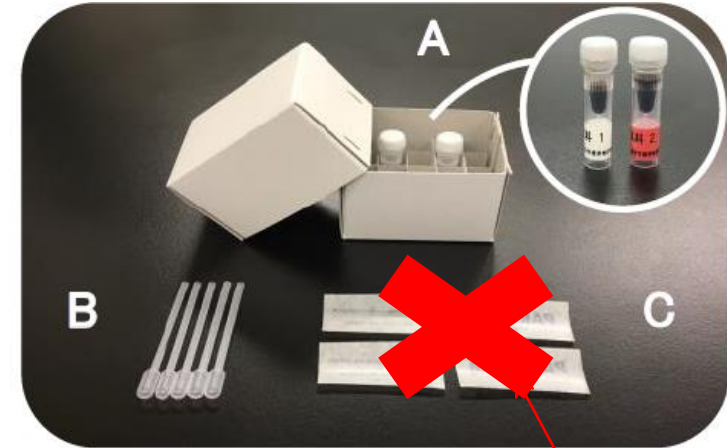
## 【届くもの】

1装置につき、

A 測定試料 2レベル、各 1本（容量 0.3mL、計2本小箱入り）

B ピペット 5本（1本予備）

C パラフィルム 4枚（コバス b 101では使用しません）



## 【薬局様にて準備するもの】

- ・専用の廃棄箱
- ・ゴム手袋（パウダーフリー）

## 【使用手順】

### 【注意】

- ・ 試料が届いたら発砲スチロールの箱より試料を取り出し、最低20分以上置きます。
- ・ すべての測定（2回）は1時間以内に終了させてください。

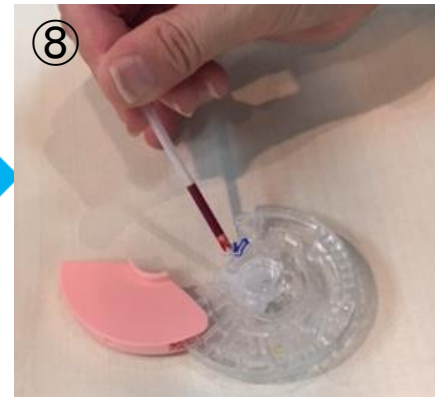
コバス b 101では  
使用しません



① 試料を室温に取り出し、静置する。  
（約25℃、20分）  
（ピペットの準備を行う。）

[2]手順②~手順⑦までは  
添付の手順書参照

試料をピペットに採取する前に、  
必ず最低10回転倒混和します。



⑧ ピペットの先端を試薬ディスクの  
点着ポイントに入れ血液を滴下する。

次ページへ  
つづく

## コバス b 101による外部精度管理試料採取方法②



⑨ピペットを少しずつ押し、血液を試薬ディスク内に滴下する。



⑩試薬ディスクの青色枠内が血液で満たされるようにする。

[10]ピペット内の残液はバイアルに戻す。

次ページへつづく

### 【注意】

- 試料に同梱されている「試験用試料採取手順(冷蔵試料)」を併せてよく読んでください。
- 測定回数は、各試料2回です。
- 測定ごとに、必ず③～⑤の転倒混和(最低10回)及び⑥～⑨の試料採取の作業を行ってください。
- 試薬ディスクに滴下後、ピペット内に残った試料はバイアル内に戻し(手順⑩)、次の測定前に再度よく混和して使用します。
- 測定終了後、試料採取に使用したピペットや脱脂綿は、専用の廃棄箱に入れ、測定に使用した廃棄物と同様に適切に処理してください。

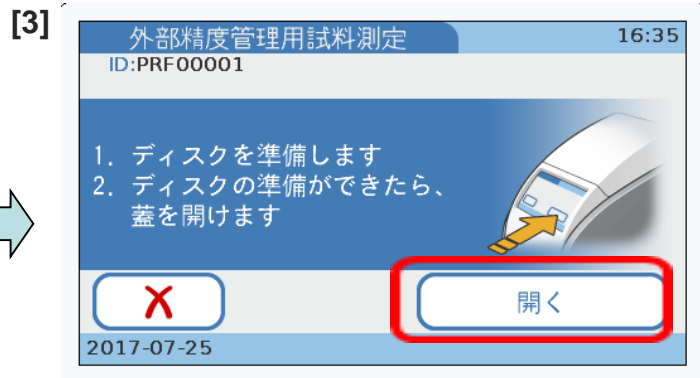
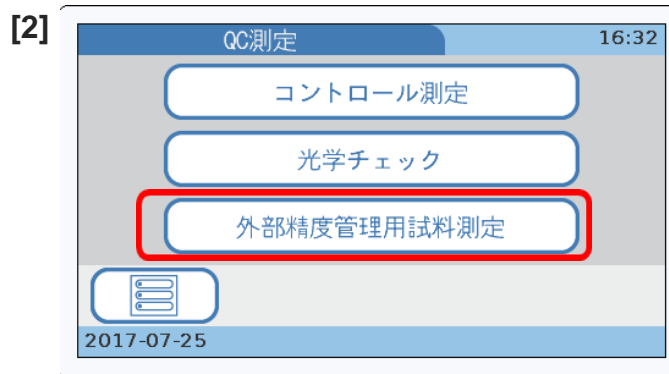
# コバス b 101による外部精度管理試料測定方法

## 【事前準備】

- ・コバス b 101装置
- ・コバス b 101用HbA1c測定試薬ディスク 4枚
- ・光学チェックディスク
- ・パウダーフリー手袋

## 【測定の前に】

- ・装置の電源をオンにし、光学チェックを実施してください。
- ・試薬ディスクを使用可能状態にしておいてください。



通常の検体測定時と同様に測定を実施します。